令和7年度 まんのう町高齢者用肺炎球菌予防接種実施要領

(広域予防接種実施医療機関用)

- 1 町は広報等で周知し、対象者には高齢者肺炎球菌予防接種予診票・接種済証等を郵送する。
(65歳の者、60歳～65歳未満9の(2)に該当する者にも予診票を個別送付する。)
- 2 実施医療機関は、まんのう町ホームページより、下記の書類をダウンロードする。
もしくは町に連絡し、町は書類を送付する。
 - (1) 高齢者用肺炎球菌予防接種実施要領 一部 (以下、「高齢者用肺炎球菌」は略す)
 - (2) 説明書
 - (3) 請求書及び被接種者名簿
- 3 実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日 (休診日を除く)
- 4 希望者は、予診票・予防接種済証・健康保険証、または資格確認書 (有効期限内の健康保険証も可) 健康手帳を持参し、医療機関で接種を受ける。
- 5 医療機関は、予診票・マイナ保険証等より本人確認を行う。
過去に肺炎球菌ワクチン (ニューモバックス NP) を接種したことのある者は、定期接種の対象とならない。必ず接種歴を確認したうえで、予診票に記入して接種を行う。
接種後に本人に対し予防接種済証を発行し、健康手帳の「医療・薬などの記録」ページに貼りつける。
(Lot No は、ワクチンに添付されているシールでよい。)
- 6 接種料金：8,200円 (ワクチン代、税込み)、公費助成金額：6,200円
- 7 自己負担：2,000円
生活保護世帯及び町民税非課税世帯の者 (定期接種対象者に限る)：無料
- 8 接種できなかった者への診察料：1,790円
接種対象者が健康不良で予診の結果、接種できなかった場合は、予診票を添付して町に請求するものとする。

9 接種料の公費一部助成対象者（町内に住所を有する者の内）

(1) 今年度の定期接種対象者

対象者	接種日年齢 65歳
-----	-----------

(2) 60～65歳未満で、心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者（身体障害者手帳1級の者）

(3) 上記(1)、(2)の者で生活保護世帯及び町民税非課税世帯の者

ア 今年度（6月までに接種する場合は前年度）の介護保険料の通知書で、非課税世帯の確認がとれるページのコピー（以下、「介護保険料の通知書コピー」という）を本人が医療機関に持参する。

イ 事前に町に免除申請手続きを行い、町は費用免除承認書を発行。費用免除承認書を本人が医療機関に持参する。

ウ 介護保険における負担限度額認定証のコピー（以下、「介護保険負担限度額認定証コピー」という）を本人が医療機関に持参する。有効期限を確認する。

上記ア、イ、ウいずれかを行なった場合、自己負担金は免除（無料）となる。

（接種後にア、イ、ウいずれかの書類を持参した場合、接種者へ自己負担金を戻し、町へ関係書類を付けて自己負担返戻分の請求をする。）

※上記(1)、(2)以外の者、任意接種となり全額自己負担

10 医療機関は、1ヶ月単位で請求書及び請求明細書に予診票・介護保険料の通知書コピー、免除承認書もしくは介護保険負担限度額認定証コピー（生活保護・町民税非課税世帯の者）を添付して、翌月10日までに町へ請求する。

11 請求を受理した町は、内容を確認後、医療機関へ30日以内に支払うものとする。

12 その他必要事項は、その都度協議して決定する。